



えんだより6月号(2025)



入園、進級して2か月！子ども達もすっかり保育園に慣れ、自分の思い通りに過ごす姿が見られるようになってきました。先生方も、やっと子ども達の個性や特性を感じ取ることができ始めました。さ~いよいよ本格的な保育園生活の始まりです。子ども達はお当番や、いろいろなお約束をみんなで守ることの大切さなどを学んでいます。年長さんは夕方、園全体のごみ当番も始まり、上手に、自信満々に『職員室のごみを集めにきました。』

『有難うございます！宜しくお願いしますね。』使命感に燃えたお顔をしています。しばらくたって『終わりました！』有難うございました！上手に出来ましたね。』言葉では言い表せないようないいお顔！こうして彼らは誰かの為に、ほんの少しの力や心を寄せることを覚えていくようです。

今月の行事

6月5日(木) 内科検診(双葉保育園)

6月12日(木) 歯科検診

6月13日(金) 避難訓練

6月26日(木) 誕生会

6月27日(金) 身体測定



6月28日(土) 『みんなの冒険！』年長さんの冒険です。

*居残り保育はありません。

子ども達の物語

時として子ども達は自分ならではの物語？を作って大人たちをびっくりさせてくれます。年長の男の子！『せんせ~い！僕ねディズニーに行って、イオンでご飯たべたとよ...！』『?・?・?・?...う~ん！ちょっとお話が..? よかったね~ディズニーにいったんだ...！』こんなかわいい物語が頭の中にあるのでしょうか。しかし時には大人が物語の内容に大きな反応を見せたり、少々かまってほしい時に大きな自分流の物語を聞かせてくれます。すると大人たちはあわてて完全に子ども達の物語の中に入ってしまい

『えっつ！〇〇ちゃんに叩かれているの..〇〇ちゃんが遊んでくれないの...等々』

冷静になって考えるとそのお友だちとの関わりや、遊びがなければ、けんかやいじわるされることもなく、いじわるをすることも無いようです。よ~く見るとそんな子ども達同士は本当に毎日くっついて過ごしています。お友達に対する憧れや、独り占めしたいなどなど、理由は子ども達にしかわかりませんが、子ども達はこうして様々な心の経験をして大きくなります。この時期ほとんどの子ども達は、少なからずいじわるをしたり、年長さんは年長さんらしく、年中さんは年中さんらしくもめたり、仲良くなったりしています。

そして確実に子ども達は大きくなってきています。一日の長い時間子ども達と関わっている職員達が、『これは...ちょっと..ダメで~す！』と思ったときはきちんと子どもの前に立ち、子ども達に正しいことを伝えています。これから大きくなる子ども達に『あなたのことはどこまでも信じているからね！』どの親御さんも思うことでしょうか。それにはまず、わが子を信じられる子どもに育てて初めて『あなたを信じているからね！...』といえる時がくるのでしょうか。『なんでうちの子が...』と少々悲しくなったりする時もあるでしょう。そんな時が我が子に向き合い、きちんと正しいことを伝える良い機会になる事でしょう。この繰り返し素晴らしい我が子の宝となり、その子の力となることでしょう。 子ども達の物語は年齢と共に形を変え、色を変えまだまだ続きます。

大きくなる子ども達の知恵という物語に、時にはゆつくりと付き合い、

職員と一緒に冷静に対処して参りましょう。